

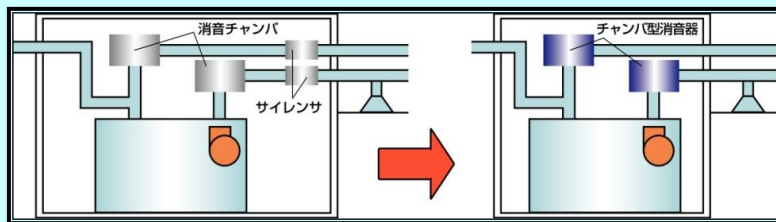
NNC

チャンバ型消音器(特許出願申請中)



製品特徴

- ・ 行路差による減音効果を利用した高性能消音器
- ・ 消音チャンバ+サイレンサの組合せと同等の消音効果を1台の消音器で実現
- ・ 10,000m³/hクラス空調機用に低周波域の消音を強化した4タイプを用意
- ・ 圧力損失が低減し、運転エネルギー、CO₂発生量を削減



従来型消音チャンバ+サイレンサ使用の場合

チャンバ型消音器使用の場合

機械室内での納まり比較

製品仕様

名称	チャンバー型消音器
外板	亜鉛鉄板
吸音材	グラスウール
保護材	ガラスクロス、銅金網または亜鉛鉄板パンチング

機種名と標準寸法

機種名	ねらいの周波数帯域	外形寸法 (W×L×H)		
		mm		
AS-M	125Hz	750	1,075	750
AS-M+	125Hz (AS-Mに比べ250Hzの消音力を8dB強化)	750	1,400	750
AS-L	63Hz	750	1,550	750
AS-LM	63Hzおよび125Hz	1,070	1,400	750



メリット

1. 省コスト・省スペース・施工性向上

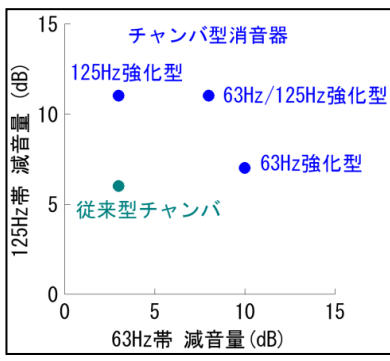
オフィスの騒音基準値NC-40をクリアするために従来、消音チャンバや消音エルボ、サイレンサなど2台以上の消音装置を必要としましたが、行路差による減音効果を利用したチャンバ型消音器を用いると1台でクリアできます。機械室ダクト納まりをシンプルにし、施工性、コストの削減に効果を生みます。



某高層ビル設置例

2. ベストな選定ができる4タイプ

10,000m³/hクラスの空調機消音用に、125Hz強化型（AS-M,M+）、63Hz強化型（AS-L）、63Hzおよび125Hz強化型（AS-LM）の4タイプを用意、空調機の騒音特性に合わせて最適なタイプを選ぶことができます。

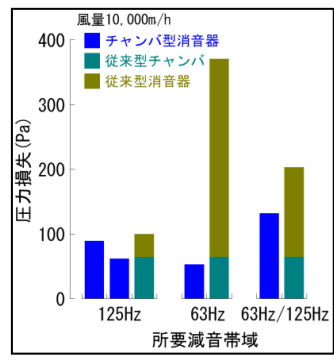


消音量の比較

3. 省エネルギー・CO2削減

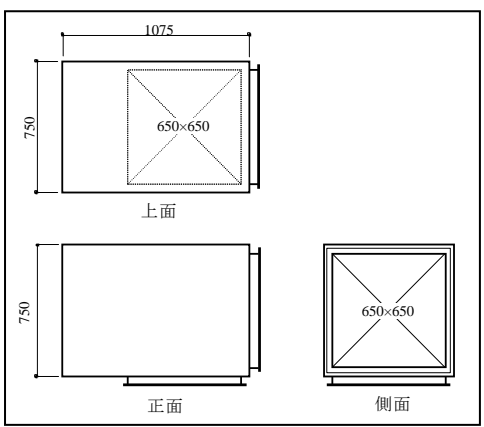
チャンバ型消音器は1台設置で済むため、従来の消音チャンバとサイレンサの組合せに比べ、圧力損失が11~74%減（当社比）となりました。（注1）これにより運転エネルギー、CO2発生量の削減に効果があります。

（注1）74%低減はAS-Lと従来型の組合せとの比較（右グラフ参照）



圧力損失の比較

外形図



外形図(AS-Mの場合)



日本ノイズコントロール株式会社

〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル13F TEL:03-5937-6532 FAX:03-5937-6533
 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-8-14 肥後橋SKビル6F TEL:06-6444-6571 FAX:06-6444-0057